

令和9年度関税率・関税制度改正要望事項調査票（適用期限のある関税制度の延長）

要望元：畜産局飼料課流通飼料対策室

品名（関税率関係）又は 制度名（関税制度関係）			<品名> とうもろこし（その他（粒飼用）） <制度名> 関税割当制度								
改正要望の内容			<改正を要する法令及び条項> 関税暫定措置法第2条第1項 <具体的な内容> 「令和9年3月31日まで」とされているものを1年以上長する。								
税 番	統計 細分	品 目	現行税率			改正後税率			WTO 譲許税率	現行制度の 増減税規模	改正増減 収額
			基本	暫定	特惠	基本	暫定	特惠			
1005.90	096	とうもろ こし （その他 （粒飼 用））	50%又は 12円/kg のうちい ずれか高 い税率	3% (TQ)		(同左)	(同左)		50%又は 12円/kgの うちいず れか高い 税率	△125 百万円	—
改正要望内容の 施行期日及び適 用期間			<施行期日> 令和9年4月1日 <適用期間> 「令和9年3月31日まで」とされているものを1年以上延長する。								
改正を要望する 品目又は制度を めぐる状況			① 現状 (1) 改正品目・関税制度と関連する産業等の現状及び過去からの状況変化等 輸入とうもろこしを原料として製造されるコーンスターチの生産数量を調整することにより国産いもでん粉を保護するため、昭和40年に配合飼料（承認工場）用を除くコーングリッツ等用、菓子用、粒飼用、単体飼料用のとうもろこしについて、「その他用」の関税割当制度が導入された。その後、平成7年度に、単体飼料用については、別の関税割当枠が導入された。 粒飼用とうもろこしは、家禽以外の鳥類用飼料として利用されており、主にレース鳩産業に需要がある。本制度により、需要者に対し、粒飼用とうもろこしを低廉かつ安定的に供給することにより、レース鳩産業の維持・発展を通じた地域経済の維持・発展に寄与している。								

	(2) 輸入状況等									
--	------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	(参考) 効果を判断するための定量的指標 当該品目の消化率			
	年度	政令数量 (トン)	通関数量 (トン)	消化率 (%)
	令和 3	7,300	6,377	87.4
	令和 4	7,200	5,939	82.5
	令和 5	7,000	5,032	71.9
	令和 6	7,000	5,562	79.5
	令和 7	7,000	4,486	64.1
	(2) 消費者等の利益に与える効果・影響			
	レース鳩産業の維持・発展を通じた地域経済の振興			
	(3) その他の効果・影響			
	特記事項なし			
政策評価・関連措置	② 改正の妥当性			
	家禽以外の鳥類用のとうもろこしについては、小型のとうもろこしが丸粒のまま給与されるため、関税定率法 13 条の承認工場制度の適用が困難なことから、現行制度の延長が適正である。			
	① 本要望に関連する政策評価			
	当省においては、本要望に関連する政策目標として、総合的な食料安全保障の確立を図ることとしており、令和 6 年度の総合評価書「総合的な食料安全保障の確立」において、「我が国の総合的な食料安全保障の確保に向けて、評価対象政策である「総合的な食料安全保障の確立」に対して一定の有効性が確認された」とされているところ。			
	② 当該政策評価の結果と改正の関係			
	上記①の政策評価を踏まえ、当省としては、引き続き我が国の総合的な食料安全保障の確立に向けた様々な取組を維持・促進していく必要があることから、こうした取組を支援する一環として、とうもろこしに係る関税割当制度についても、引き続き延長することが適当。			
	③ 政府方針と改正の関係			
	でん粉原料用いも及びこれらから生産される国産いもでん粉は、現時点では十分な国際競争力を確保するには至っていない。このため、関税割当制度や特別緊急関税制度により、安価な輸入品が無制限に国内に流入するのを防ぐとともに、一定数量の範囲内で低税率を適用することで、需要者に対して安価な輸入品の供給を確保している。			
	これにより、でん粉原料用いも及びいもでん粉産業を保護し、地域経済を支えるとともに、食料自給率の確保にも資するものである。			
	④ 関連措置			
	—			

○ 改正経緯

これまでの改正状況	昭和 40 年度に関税割当制度が導入され、平成 13 年度の枠内税率の改正以降、現在まで延長。
措置による効果	国産いもでん粉産業を保護しつつ、「改正の効果と妥当性」の通り、飼料費の低減が図られることにより、レース鳩産業の維持・発展等を通じて地域経済の維持・発展に寄与。